

研究背景

高齢者が健康で充実した生活を送るために、聴覚特性の研究を行う。

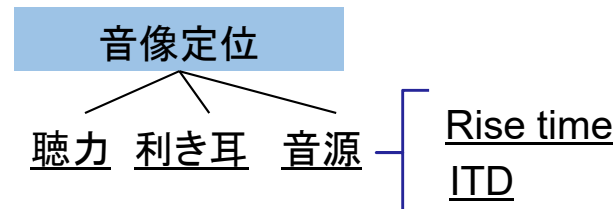
聴覚特性

聴力レベル
周波数特性
ラウドネス曲線
...

音像定位
(本研究で着目する)

- 高齢者は**立ち上がり部分 (Rise time)**の認識が不十分である。
- 音声認識に対する**右耳優位性 (REA)**が明らかになる。

研究目的



各因子の寄与度を把握する。



加齢による聴覚特性の左右差の有無を把握する。

研究内容

Rise time



対象

- 若年者
- 中年者
- 高齢者

影響因子の確認

各因子の考察 **+** 寄与度の確認

- 聴力
- 利き耳[本実験+アンケート調査]
- ITD (音源)
- Rise time (音源)

- 線形関係:
判別分析
- 非線形関係:
ニューラルネットワーク

音像定位実験

影響内容の確認

自信度と正回答数の確認

- 各**Rise time**の比較
- **加齢**による比較

左右非対称性の確認

変化傾向+有意差

- Rise timeに着目し
- 左右の回答率の比較
- **加齢**による比較
- **REA特性**の把握